

10 大井川東地域まちづくり構想

10-1 地域の現状

大井川東地域 位置図

■概況

本地域は、焼津市の南部に位置し、面積は約 630ha で市域の約 9%を占めています。本地域は、大井川西地域及び大井川南地域とともに、昭和 30 年に大井川町として発足し、平成 20 年に焼津市に編入され、現在に至っています。

地域内には航空自衛隊静浜基地があるほか、国道 150 号、国道 150 号バイパスなどが通っています。



■人口の推移

平成 27 年における本地域の人口は 6,916 人、世帯数は 2,420 世帯となっており、近年、人口は減少傾向に、世帯数は増加傾向にあります。

年齢 3 区分別人口割合は、15 歳未満及び 15 歳～65 歳未満が緩やかな減少傾向に、65 歳以上が緩やかな増加傾向にあり、少子高齢化の傾向が強まっています。平成 27 年における 65 歳以上人口の割合は 24.8%で、高齢化率は 3 番目に低い地域となっています。

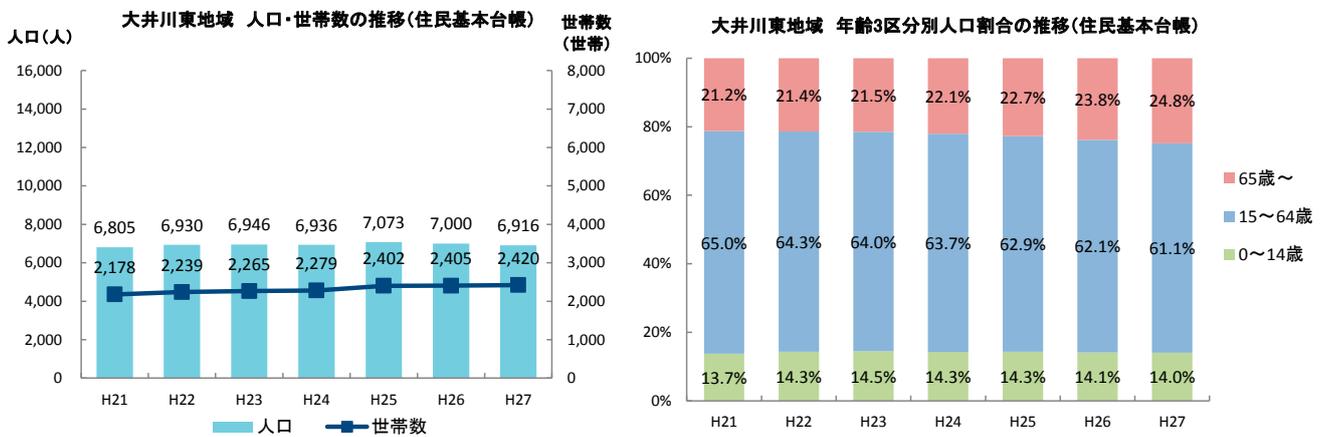


図. 大井川東地域における人口・世帯数及び年齢 3 区分別人口割合の推移
(住民基本台帳より：H24 までは日本人のみ、H25 以降は外国人を含む)

10-2 地域の将来像

大井川東地域の将来像

- 田園をはじめとする自然環境と共生した、暮らしやすいまち
- 自然や歴史・文化などの地域資源を守り続けるまち
- 自然災害から命を守るまち

10-3 地域のまちづくりの課題

◎豊かな自然環境と調和・共生した良好な生活環境づくり

- ・多くの公共施設が集積して立地し、地域住民の生活を支えている大井川生活交流拠点の現在の機能を維持するとともに、交通結節点としての機能の向上と公共交通などによる移動手段の充実を図る必要があります。
- ・既存集落地や、宗高中央地区などの計画的に整備された住宅団地などにおいては、周辺の緑豊かな自然環境や田園風景と調和した住環境を保全・創出するとともに、地域コミュニティの維持と地域の活性化が必要です。
- ・東名高速道路大井川焼津藤枝スマートICに近接する立地優位性を活かし、既存集落地や自然環境と調和・共生した、地域の活力を高める新たなまちづくりを検討する必要があります。

◎自然や歴史・文化などの多様な地域資源の保全と活用

- ・志太田中川や成案寺川等においては、地域住民の憩いの場や水とのふれあいの場とするため、今後も保全を図るとともに、緑のネットワークづくりなどにより、さらに魅力を高める必要があります。
- ・本地区には田園を中心とする緑豊かな農地が広がっているほか、「藤守の田遊び」などの歴史・文化が根付いているため、これら地域の重要な自然資源・歴史文化資源を保全するとともに、次の世代に引き継いでいくことが必要です。
- ・地域の自然や歴史・文化を守るため、地域住民が主体となった取組が必要です。

◎地域の活力向上と、地震・津波などの自然災害への備えの充実

- ・地域活動の中心地である大井川東小学校などを有効活用したまちづくりを進める必要があります。
- ・地震による津波被害の防止・軽減を図るため、駿河海岸における津波対策を進めるとともに、避難地や避難路の整備などによる安全確保を図る必要があります。
- ・大雨時の河川氾濫・道路冠水等を防止するため、成案寺川、志太田中川、藤守川などの地域を流れる河川とその流域について、総合的な治水対策を進める必要があります。
- ・過去の自然災害の発生状況や教訓をもとに、自然災害に対する危険性や正しい知識を習得するなど、地域住民の防災意識の向上と防災活動の充実を図る必要があります。

10-4 地域のまちづくり方針

①大井川庁舎周辺における、多様な交流を創出するまちづくり

- ・生活交流拠点である大井川庁舎周辺においては、公共交通の結節点に位置するメリットを活かしつつ、安心して子どもを産み育てられ、高齢者が地域において安全・安心・快適な生活を営むことができる環境づくりに努めます。また、地域住民の日常の足の確保と利便性向上のため、利用需要に応じた公共交通ネットワークを検討します。
- ・田園風景が守られるように、ゆとりある住宅と自然環境が調和した地域づくりを進めるとともに、宗高中央地区においては、地区計画の制度を活用し、安全でうるおいの感じられる低層住宅地として、周辺の環境と調和のとれた良好な住環境の維持に努めます。



宗高中央地区の住宅地

- ・市街化調整区域において、周辺の住環境や自然環境との調和・共生に留意するとともに、東名高速道路大井川焼津藤枝スマートIC周辺から延びる幹線道路周辺や国道150号の沿道では、交通便利性を最大限に活かしつつ、雇用創出などの経済効果を生み、地域の活力を高める新たな土地利用について検討します。また、高新田第1・2工業団地など、既に都市的土地利用がなされ点在している環境共生型工業地（P19参照）では、今後も生産機能の強化を図ります。

②藤守の田遊びなど自然・歴史文化資源を活かした景観まちづくり

- ・志太田中川、成案寺川などの地域ならではの自然資源を結ぶ、豊かな水と緑を市民が身近に感じることができるまちづくりを進めます。
- ・農業生産の場でもある田園地域について、営農環境を維持しつつ、水田が広がる田園景観を保全・活用するとともに、ボランティアなどの地域住民が主体となった環境美化活動を推進します。
- ・藤守の田遊びの伝統的行事や大井八幡宮など地域ならではの歴史文化資源を守り、活かすための地域独自の取組を推進します。



田園風景

③大井川東小学校などを活用した地域住民主体の活力あるまちづくりと、 潮風グリーンウォークなどを活用した防災・減災まちづくり

- ・大井川東小学校など、地域活動の中心地にある既存施設を有効活用し、子どもから高齢者まで誰もが、集い、憩うことのできる場づくりを進めるとともに、地域特性を活かした、地域住民主体の活力あるまちづくりを進めます。



大井川東小学校

- ・地震による津波被害を防ぐため、駿河海岸において粘り強い防潮堤と併せて、盛り土部に植林し、散策路を設ける「潮風グリーンウォーク」の整備を推進します。
- ・台風や集中豪雨などに起因する水害の防止・軽減を図るため、成案寺川、志太田中川、藤守川などでは、河川の特性を踏まえた整備と維持管理を進めるとともに、総合的な治水対策を推進します。
- ・地域の子どもから高齢者まで誰もが、普及・啓発活動や防災教育等を通じて、防災意識を高揚させるとともに、災害ボランティア活動への参画を促進します。

〈大井川東地域 まちづくり方針図〉

凡 例	
市街化区域	高校・専門学校・大学
地域活動の中心地(商業系)	文化施設
自然環境保全・活用地区	公民館
環境共生型工業地	地区集会所
地域活動の中心地	体育施設
地域活動の中心地	保健福祉施設
地域の骨格軸	医療施設
水・緑の軸	郵便局・金融機関
水・緑の軸	
鉄道	
高速道路	
主要幹線道路	
都市拠点	
生活交流拠点	
産業・観光交流拠点	



志太田中川や成実寺川などの自然資源を結び、豊かな水と緑を身近に感じることができるまちづくり

成実寺川、志太田中川、藤守川などの整備と維持管理、総合的な治水対策

